



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

感染症対策の行方

問 富士宮アラートとも取れる市長の同報無線による広報を、より効果的にするためには。

- ①富士宮市に縁のある芸能人に頼めないか。
- ②小学校の輪番制により児童に頼めないか。
- ③市長はここ一番の時に限定できないか。

市長 市長の使命は市民の命と暮らしを守ること、今回のような重大事案には、有名人や小学生による放送は考えられない。ここ一番は今である。

意見 聞いてもらえない人にも聞いてもらうことに意義があり、対策を練ってほしい。

市長 聞くのが嫌なら耳栓をしたり、ラジオを止めておけば良い。聞いてくれる人や大切に思ってくれる人がいるので信念を持ってやっている。

意見 聞いてもらう事に重点を置いてほしい。

問 市立病院の知見協力によって、自己免疫を高

める方法などを市民に広報などできないか。

病院長 感染しても重症化しないために、バランスの良い食事、適度な運動や休養をしっかりとることが大切だと思うので、市の広報誌や市民対象の研修会等が可能ならば、できる限り協力していきたい。

部長 基本的な生活習慣は運動、栄養、睡眠を軸として、入浴やよく笑うことなどが挙げられる。今後も健康講座や各保健事業の中で感染予防や生活習慣について、周知啓発していく。

富士根地区の安全を考える

問 富士根北小前の交差点は、東西で高低差がありとても見えにくい、解決策はあるか。

部長 横断中の児童や、対向車が直前まで認識しづらく交通量も多い。今後も安全対策についての調査検討を行い、安全施設や路面標示、修繕などを行っていく。

問 富士見小東側計画道路進捗と対策について。

部長 都市計画道路整備プログラムで長期計画としているので、計画的な整備を行っていく。



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

星山浄化センターと衛生プラントの共同一元化について

問 共同一元化への課題は何か。

部長 ハード面の大きな課題は無い。ソフト面で下水道法、廃掃法、水質汚濁防止法等関係法令の整備、都市計画決定の変更、受益者負担の問題等課題は多いものの、今後関係機関と調整し検討を進めていく。

問 星山浄化センター、衛生プラントの年間処理費と処理単価はどれほどか。

部長 星山浄化センターの年間処理費は3億6106万6930円、年間の有収量は698万9265m³であるので、処理に要する人件費、薬品代、電気料などを要する1m³あたりの処理単価は51.7円。衛生プラントの年間処理費は1億3863万364円、年間の搬入量は4万7248m³となり処理

単価は2934円。

問 共同一元化が実現すると単純に1億円相当の経費削減効果があると考えられるのか。

部長 1億円という金額は難しい。今目標としているのは5000万円から6000万円を目標としている。処理の共同化は、今年の水道部の業績評価の共通目標であり、部の中で1番に解決すべきものだと思っている。

意見 今回の定例会では多くの議員が新型コロナウイルス感染症に関する質問をされていた。富士宮市も市民も大変な状況にあり、今後の見直しも大変厳しい。今回のように通常業務の見直しでこれだけの経費削減につながることは全力で取り組むべきものだと思う。課題も多いとのことであるが、富士宮市民のために頑張っていただきたい。

